

# 第23回厚生科学審議会科学技術部会

## — 議 事 次 第 —

【日 時】 平成17年3月18日（金）17：00～19：00

【場 所】 厚生労働省 省議室（9階）

### 【議 題】

1. 部会長代理の指名について
2. 平成17年度科学技術関係予算について
3. 今後の中長期的な厚生労働科学研究の在り方に関する専門委員会と総合科学技術会議の動向について
4. 戦略研究の進捗状況について（報告）
5. 機関評価について
6. 遺伝子治療臨床研究について
7. 遺伝子治療臨床研究に係る生物多様性影響評価について
8. 医学研究における個人情報の取扱いの在り方等について（報告）
9. その他

### 【配付資料】

- 資料1 厚生科学審議会科学技術部会委員名簿
- 資料2-1 平成17年度科学技術関係施策について
- 資料2-2 平成17年度厚生労働省科学技術関係予算額（案）の概要
- 資料3-1 「今後の中長期的な厚生労働科学研究の在り方に関する専門委員会」の開催状況について（報告）
- 資料3-2 第3期科学技術基本計画にむけて
- 資料3-3 今後の中長期的な厚生労働科学研究の在り方に関する専門委員会名簿
- 資料3-4 総合科学技術会議における第3期科学技術基本計画の検討状況について
- 資料3-5 総合科学技術会議における主要検討課題
- 資料4 戦略研究の創設にかかる検討状況（報告）
- 資料5-1-1 平成15年度国立感染症研究所機関評価報告書と対処方針のポイント
- 資料5-1-2 平成15年度国立感染症研究所機関評価報告書
- 資料5-1-3 平成15年度国立感染症研究所機関評価に対する対処方針
- 資料5-2-1 国立医薬品食品衛生研究所機関評価と対応
- 資料5-2-2 国立医薬品食品衛生研究所機関評価報告書
- 資料5-2-3 国立医薬品食品衛生研究所外部評価委員会の評価結果及び研究開発機関の対処方針

- 資料6-1 遺伝子治療臨床研究に関するフランスの有害事象を踏まえた国内の取扱いについて（報告）
- 資料6-2 遺伝子治療臨床研究に関する実施施設からの報告について（1件）
- 資料7-1 遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律に基づき申請のあった第一種使用規程に係る意見について
- 資料7-2 遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律の概要
- 資料8-1 医学研究分野における個人情報保護に係る検討について
- 資料8-2 医学研究等における個人情報の取扱いの在り方等について
  
- 参考資料1 厚生科学審議会令関係規程
  - （1）厚生労働省設置法
  - （2）厚生科学審議会令
  - （3）厚生科学審議会運営規程
  - （4）厚生科学審議会科学技術部会運営細則
- 参考資料2 厚生労働省の科学研究開発評価に関する指針

## 厚生科学審議会科学技術部会委員名簿

氏名	所属
いまい みちこ 今井 通子	株式会社ル・ベルソー代表取締役社長
いむら のぶまさ 井村 伸正	財団法人日本薬剤師研修センター理事長
かまぞえ ただお 垣添 忠生	国立がんセンター総長
かとう ひまたけ 加藤 尚武	鳥取環境大学長
かなざわ いちろう 金澤 一郎	国立精神・神経センター総長
きし れいこ 岸 玲子	北海道大学大学院医学研究科教授
きたむらそういちろう 北村惣一郎	国立循環器病センター総長
くらた たけし 倉田 毅	国立感染症研究所長
くろかわ きよし 黒川 清	東京大学先端科学技術研究センター客員教授
きまづき たけひこ 毎月 健彦	国立国際医療センター総長
まとうとくたろう 佐藤徳太郎	国立身体障害者リハビリテーションセンター総長
たけなか とういち 竹中 登一	山之内製薬株式会社代表取締役社長
ながい りょうぞう 永井 良三	東京大学大学院医学系研究科循環器内科教授
なかお かずわ 中尾 一和	京都大学大学院医学研究科教授
ながお たく 長尾 拓	国立医薬品食品衛生研究所長
はしもと のぶや 橋本 信也	社団法人日本医師会常任理事
はせがわ まりこ 長谷川 真理子	早稲田大学政治経済学部教授
まつもと つねお 松本 恒雄	一橋大学大学院法学研究科教授
みなみ まさこ 南 砂	読賣新聞社編集局解説部次長
◎ やざま よしお 矢崎 義雄	独立行政法人国立病院機構理事長

# 平成17年度科学技術関係施策について

厚生労働省

平成17年度の科学技術分野の重点事項(総合科学技術会議)

安心・安全な生活を実現する科学技術活動の推進



我が国の経済を発展させ国際競争力を確保する科学技術活動の推進



我が国の研究基盤となる研究開発の着実な推進



科学技術システムの改革等

## 重点事項

### 1. 健康安心の推進(健康寿命の延伸)

- (1) 糖尿病等の生活習慣病対策の推進 22億円(13億円)
  - ・新たな大型戦略研究事業を導入
  - ・画期的予防・診断・治療法の開発
- (2) 介護予防の推進 21億円(21億円)
  - 痴呆・骨折対策の推進、介護技術の研究開発
- (3) こころの健康問題への取組の推進 20億円(18億円)
- (4) 最先端科学の活用によるがんの本態解明の推進 30億円(29億円)

### 2. 健康安全の確保

- (1) 新興・再興感染症対策 19億円(17億円)
  - SARS、高病原性鳥インフルエンザ等の感染症の予防・診断・治療の研究推進
- (2) 食の安心・安全の確保 14億円(15億円)
  - ゲノム科学等を活用した予測システムの研究
- (3) 危機管理対策 0.7億円(0.7億円)
  - 有効で迅速な対応システム
- (4) 医療安全の確保 14億円(17億円)

### 3. 先端医療の実現

- (1) ゲノム科学・たんぱく質科学・ナノテクノロジー等の応用
  - ファーマコ・ゲノムクス研究の開始 74億円(66億円)
  - ナノメディシン関連研究推進
- (2) 先端医療の実用化、治験環境の整備の推進
  - 治験推進研究の充実等 21億円(21億円)
- (3) 新たな医療機器の開発の推進 11億円(7億円)
- (4) 質の高いがんの臨床研究の推進 18億円(18億円)

## 平成17年度予算額(案)

科学技術関係予算1,291億円

(16年度1,290億円 対前年度比0.0%)

うち、科学技術振興費1,078億円

(16年度1,077億円 対前年度比0.1%)

(注) ( )内は平成16年度当初予算額

# 健康寿命を伸ばす科学技術の振興 (健康フロンティア戦略)

(平成17年度～平成26年度)

我が国は超高齢化社会への道

10年後の平成27年(2015年)には、高齢者数が3300万人と予測  
「明るく活力ある社会」を構築 と「健康寿命」の延伸

糖尿病・がん等の  
疾病の罹患と死亡を減らす

要介護になることを防ぐ

働き盛り層  
生活習慣病と心の健康

女性層  
女性のがん

高齢者層  
介護予防

## 健康寿命を伸ばす科学技術の振興

先端科学技術の導入と生活習慣病・介護予防研究の推進

### 健康安心の推進 (健康寿命の延伸)

- 糖尿病等の生活習慣病対策の推進
- 介護予防の推進

### 先端医療の実現

- ゲノム科学・たんぱく質科学・ナノテクノロジー等の応用
- 先端医療の実用化、治験環境の整備の推進

行政施策と連携

目標について各種  
施策の総合的な効果により、

- 生活習慣病の  
死亡率・発生率  
の改善
- 要介護者の減少  
等を目指す。

平成17年度厚生労働省科学技術関係予算額(案)の概要

(単位:百万円)

区 分	平成16年度 予 算 額	平成17年度 予算額(案)	対前年度 差 引 増△減額	対前年度 比 率	備 考
科学技術振興費	107,675	107,835	160	100.1%	
厚生労働科学研究費補助金	41,964	42,237	273	100.7%	「※」は健康フロンティア関連経費
1. 健康安心の推進					
※(1)循環器疾患等総合研究経費	1,298	2,177	879	167.7%	糖尿病等の生活習慣病対策の推進
※(2)長寿科学総合研究経費	2,063	2,077	14	100.7%	老化抑制機構の解明、介護予防の推進
※(3)こころの健康科学研究経費	1,756	2,037	281	116.0%	こころの健康問題への取組の推進
※(4)第3次対がん総合戦略研究経費	2,860	3,015	155	105.4%	第3次対がん総合戦略の推進
2. 健康安全の確保					
(1)新興・再興感染症研究経費	1,713	1,917	204	111.9%	SARS・鳥インフルエンザ等の感染症対策の推進
(2)(仮称)食品の安心・安全確保推進研究経費	1,482	1,352	△130	91.2%	食の安心・安全の確保
(3)国際健康危機管理ネットワーク強化研究経費	72	72	0	100.0%	健康危機管理体制の強化
※(4)医療技術評価総合研究経費	1,718	1,432	△286	83.4%	安全で質の高い医療提供体制の構築
3. 先端医療の実現					
※(1)ヒトゲノム・再生医療等研究経費	3,454	3,598	144	104.2%	ゲノム科学・再生医療技術の応用
※(2)疾患関連たんぱく質解析研究経費	662	661	△1	99.8%	疾患関連たんぱく質解析の推進
※(3)萌芽の先端医療技術推進研究経費	2,479	3,130	651	126.3%	ナノテクノロジー等の応用
※(4)基礎研究成果の臨床応用推進研究経費	1,034	1,004	△30	97.1%	先端医療の実用化
※(5)治験推進研究経費	1,082	1,082	0	100.0%	治験環境の整備の推進
※(6)身体機能解析・補助・代替機器開発研究経費	700	1,113	413	159.0%	新たな医療機器の開発の推進
※(7)がん臨床研究経費	1,774	1,849	75	104.2%	第3次対がん総合戦略の推進
4. 健康フロンティア戦略関連経費(再掲)	22,030	24,364	2,334	110.6%	「※」の研究経費分も再掲
試験研究機関	27,760	26,827	△933	96.6%	独立行政法人医薬基盤研究所運営費交付金115億円
特定疾患治療研究費補助金	22,157	23,215	1,058	104.8%	
小児慢性特定疾患治療研究費	12,741	12,702	△39	99.7%	
そ の 他	3,054	2,853	△201	93.4%	・日米医学協力研究事業委託費を厚生労働科学研究費補助金の中で計上 ・結核・放射線影響研究所補助金
うち健康フロンティア戦略関連経費	(76)	(64)	(12)	84.2%	・評価の推進
そ の 他	1,660	1,512	△148	91.1%	
小 計	109,335	109,347	12	100.0%	
国立高度専門医療センター	11,327	10,951	△376	96.7%	国立がんセンター研究所、国立循環器病センター研究所、国立精神・神経センター研究所等経費
うち健康フロンティア戦略関連経費	(0)	(391)	(391)		
がん研究助成金等	4,250	4,250	0	100.0%	
国立高度専門医療センター治療研究費	282	282	0	100.0%	
小 計	15,859	15,483	△376	97.6%	
産投特会	600	1,000	400	166.7%	医薬品、医療用具等の開発に関する研究の促進のため、民間企業に対するパイ・ドール方式による支援を行うもの
労働保特会	3,225	3,246	21	100.7%	独立行政法人産業安全研究所、独立行政法人産業医学総合研究所に必要な経費等
合 計	129,020	129,076	56	100.0%	
健康フロンティア関連経費 合計	22,106	24,819	2,713	112.3%	